

《東山神社》

東山（ひがしやま）神社は、祭神が石巢彦命（いわすひこのみこと）と石巢比売命（いわすひめのみこと）というご夫婦の神様です。上古の時代に乱暴者の移住者が人々を悩ませていたために、この地を平定するために使わされた神様であり、感謝を表すために村の鎮守の神社を建てたとも言われています。

神社や寺は、普通は南を向いているのですが、この東山神社は例外です。この神社から見て東にあるのが石鎚山で、石鎚神社から祭神を分霊したので「東山神社」と名付けられたそうです。

境内には、推定年齢が350年とされる、二つの楠の大樹が鎮座しており、松山市の保存樹林とされています。



【鳥居】



【楠の大樹】



【本殿】